

教科	科目	単位数
国語	文章表現B	2単位
【指導目標】 小論文の記述に必要な基本的なルールと論理的構成法を習得し、与えられた課題文やテーマに対して自らの意見を論理的に展開する力を養う。また、社会的な事象に関心を持ち、多角的な視点から物事を捉えて、他者に伝わる文章を作成する態度を育成することを目指す。		
【知識・技能】 ・原稿用紙の使い方、表記のルールなどを正しく理解し、使用できる。 ・小論文の基本構成（序論・本論・結論）の型を理解している。 ・示された課題文やテーマの設問を正確に読み取り、要約・要旨をまとめるための読解技術や語彙力を身につけている。		
【思考・判断・表現】 【思考】 課題に対して、根拠を多角的に分析し、論理の矛盾なく思考できる。 【判断】 提示された資料や文章から、筆者の主張と自分の意見の相違点や共通点を適切に判断できる。 【表現】 自分の考えが読み手に正確に伝わる手段として、段落構成や接続詞を工夫し、説得力のある文章を記述できる。		
【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの文章を客観的に見直し、添削指導をもとに粘り強く推敲（書き直し）に取り組もうとしている。 ・ニュースなど時事問題に関心を持ち、小論文の背景となる正しい知識を自ら収集しようとしている。 ・自分の目指す進路実現に向けて、文章表現力を向上させることの重要性を理解し、意欲的に課題に取り組んでいる。		
履修条件	高校2年次以降を推奨。文書表現Aと同時、もしくは文書表現Aの履修後が望ましい。	
スクーリング	2時間（前期1時間、後期1時間）	2時間とも要出席
レポート	年間6枚（前期3枚、後期3枚提出）	全て提出
試験	2回実施する（前期末、後期末）	30点以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社で作成	必要に応じて視聴
評価	試験50%、レポート40%、スクーリング態度10%で評価する	
教科書		
学習書	第一学習社「小論文トレーニングチャレンジノート1.2.3」、第一学習社制作テスト	
副教材	なし	

回	単元	学習書のページ	ビデオ No	レポート番号 / 締め切り	スクーリング試験
1	小論文学習を始める前に	vol.1 表紙裏	1-1	No.1 / 5月15日	前期
	ウォームアップ1 「写真から情報を読み取ろう」	vol.1 2～3	1-2		
	ウォームアップ2 「正しい表現・表記に直そう」	vol.1 4～5	1-3		
	ウォームアップ3 「原稿用紙に正しい表記で書き直そう」	vol.1 6～7	1-4		
2	レクチャー1 作文と小論文の違い	vol.1 8～9	1-5	No.2 / 6月30日	
	レクチャー2 小論文とはどのような文章か	vol.1 10～11	1-6		
	レッスン1 「作文と小論文を見分けよう」	vol.1 12～13	1-7		
	レッスン2 「小論文を書こう」	vol.1 14～15	1-8		

3	ウォームアップ1 「意見と理由をはっきり述べよう」	vol. 2 2～3	2-1	No. 3/ 8月19日	後期
	レクチャー1 「小論文の書き方」	vol. 2 4～5	2-2		
	レクチャー2 「段落構成の考え方」 *メディア視聴	vol. 2 6～7	2-3		
	レクチャー3 「要約・課題文型小論文の考え方」	vol. 2 8～9	2-4		
4	レッスン1 「主題提示型の書き方を学ぼう 事前学習～事後学習」	vol. 2 10～11	2-5 2-6	No. 4/ 10月20日	
	レッスン2 「問題解決型の書き方を学ぼう 事前学習～事後学習」	vol. 2 12～13	2-7 2-8		
	レッスン3 「課題文型小論文に挑戦しよう 事前学習～事後学習」	vol. 2 14～15	2-9 2-10		
5	ウォームアップ1 「要約のポイントと構成の型を確認しよう」	vol. 3 2～3	3-1	No. 5/ 11月15日	
	ウォームアップ2 「意見の根拠を考えよう」	vol. 3 4～5	3-2		
	レクチャー1 「意見の作り方」	vol. 3 6～7	3-3		
	レクチャー2 「テーマ型小論文の考え方」	vol. 3 8～9	3-4		
6	レッスン1 「自分の関心に目を向けて、志望理由を考えよう 事前学習～事後学習」	vol. 3 10～11	3-5 3-6	No. 6/ 12月10日	
	レッスン2 「社会の課題を自分の視点で考えよう 事前学習～事後学習」	vol. 3 12～13	3-7 3-8		
	レッスン3 「課題文をふまえて、社会の問題を考えよう 事前学習～事後学習」	vol. 3 14～15	3-9 3-10		
	課題文型小論文の書き方 要約問題の取り組み方	視聴用レジュ メ	3-11 3-12		